



2026年2月18日

各 位

マニー・パッキャオ氏の次戦を見据えた「興行スポンサー契約」を締結。

格闘技支援インフラ「Fighters Guild」の技術監査および

事業構築パートナーとして参画

～株式会社 AbemaTV（格闘 ch）と放送・配信面で連携し、

新たな経済圏の社会実装を主導～

当社は、一般社団法人 Fighters Guild（東京都、理事 マーカス・ルアー ※設立登記準備中）が本日発表しました、格闘技選手の怪我・資産形成・教育を中立的に支援する非営利インフラ構想「Fighters Guild（ファイターズギルド）」において、技術監査および事業構築パートナーとして参画したことをお知らせします。



当社は、本構想の実現に必要な経済基盤を確立するため、マニー・パッキャオ氏の次戦（2026年開催予定）に向けた興行スポンサー契約を締結いたしました。今後は、大会の放送・配信を行う株式会社AbemaTV（格闘ch）と連携し、興行の熱狂をブロックチェーン技術で資産化する、次世代エコシステムの構築を主導してまいります。

1. 参画の背景：選手を守る仕組みには「透明性」と「中立性」が不可欠

格闘技は世界的な注目度が高い一方で、選手の健康リスクや引退後不安、資金の不透明さが、長年「仕組み」として解きにくい課題として存在してきました。

Fighters Guildは、興行団体の垣根を超え、すべての格闘家が加入可能なセーフティネット（医療支援・資産形成・教育）を非営利型の一般社団法人として提供する構想を掲げています。

当社は、Web3／ブロックチェーン活用事業の推進を通じて培ってきた技術知見を活かし、本構想が目指す「中立的支援インフラ」の社会実装を、技術監査という立場から支援します。

2. 興行および経済圏の事業構築（Business Development）

当社は技術提供にとどまらず、エコシステムの原資となる「興行」そのものを成立させるため、マッチメイク支援やスポンサーシップの権利調整など、実務面での事業開発を行います。既にパッキャオ氏サイドとは次戦に向けた契約を完了しており、確実な商流の上でシステムを稼働させます。



▲マニー・パッキャオ氏ビデオメッセージ

3. 当社の役割：上場企業として“完全な透明性”を技術監査で担保

当社は技術監査パートナーとして、主に以下の観点でシステムの健全性を常時監査（モニタリング）します。

- **不正な資金移動の兆候検知**：支援金の流れをブロックチェーン上で追跡し、異常なトランザクションを監視
- **審査データの整合性確認**：給付推薦に用いられるデータ（怪我・活動状況等）と記録の整合性を技術的に検証
- **履歴の透明性担保**：給付履歴や関連ログの記録性・改ざん耐性を前提とした監査設計の支援
- **運用健全性の継続確認**：運用中に生じうるリスクの早期発見と改善提案

これにより、参加者・関係者が安心して参画できる、透明性の高い支援インフラの構築に貢献します。

本プロジェクトにおいて、当社はエコシステム全体の技術基盤を提供し、基軸通貨「Wowbit」の圧倒的な実需（ユースケース）の創出と、それに伴う当社の企業価値向上を目指してまいります。詳細は18日の会見をもって開示いたします。

4. Fighters Guildの構想概要について

Fighters Guildは、以下の構想概要を掲げていきます。

- **団体の垣根を超えた「中立的支援インフラ」**
特定の興行団体に依存せず、すべての格闘家が加入可能なセーフティネット（医療支援・資産形成・教育）を提供
- **「Fighters DAO」による持続可能な資金循環**
従来の基金のような切り崩し型ではなく、グローバルなDAOエコシステムを活用し支援原資を継続的に創出
- **医療・資産形成・教育面からアスリートを支援**
 - ①医療：見舞金給付、提携医療機関アクセス、治療費の一部補助 等
 - ②資産形成：活動実績に応じたトークン付与、ロックアップを経て引退後資産となる設計
 - ③教育：引退後の就職支援、金融リテラシー教育プログラム提供

5. 今後の展開

今後の展開については以下を予定しています。

- 2026年春（フェイズ1）：国内提携ジム・選手に限定したクローズド・ベータテスト
- 2026年後半（フェイズ2）：プロライセンス保持者等を対象とした一般公募を開始予定

参考：事業モデル（財源・運営・技術の分離）

本プロジェクトは、日本国内の法規制を遵守するため、財源・運営・技術を分離した構造をとります。

- 1. **Fighters DAO**：グローバルな資金調達、資産運用、トークン発行
世界中のファンやスポンサーからの支援をプールし、条件を満たした選手への「助成（Grant）」を実行します。
- 2. **一般社団法人 Fighters Guild**：国内における窓口、審査、会員管理
選手の怪我や活動状況を審査し、DAOに対して「給付の推薦」を行います。
※日本法人が金融商品（保険等）の販売を行うことはありません。
- 3. **技術監査パートナー（abc株式会社）**：上記1と2の間で、不正な資金移動がないか、審査データは正しいか等を技術的に監視・監査します。
- 4. **放送・配信プラットフォーム（ABEMA）**：取り組みの社会発信、ファン参加型企画、支援の可視化に関するコンテンツ連携を推進します。
※放送・配信の有無や内容は個別案件ごとに協議します。

価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることを決めてくれる。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前と今とは違うところで決定されている。
暑い夏を感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は貝殻で、ちよっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま、そこかしらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上